

第7款 商 工 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																				
<b>1 商 工 業 費</b>	円	円																						
2 商工業振興費 (P160)	3,725,970,032 (4,128,026,000)	3,631,316,468 (3,959,330,715)	京都産業立地促進事業 (産業立地課)	<p>1 施策の趣旨等 京都府雇用の安定・創出と地域経済の活性化を図るための企業の立地促進に関する条例及び京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、税の特例措置や低利融資制度と併せて、補助制度の効果的な活用により、地域特性に応じた戦略的な企業誘致及び雇用創出を推進する。</p> <p>指標：誘致件数 目標：20件 実績：27件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都産業立地戦略21特別対策事業 地域特性に応じた企業誘致を促進するため、企業の施設整備や地元雇用に対して助成した。</p> <table border="0"> <tr> <td>交 付 企 業 数</td> <td>34企業</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>1,455,053千円</td> </tr> <tr> <td>投下固定資産額</td> <td>47,993,627</td> </tr> <tr> <td>新規地元雇用者数</td> <td>402人</td> </tr> </table> <p>(2) 伝統と文化のものづくり産業振興補助事業 伝統と文化のものづくり産業の集積や、府内での新規企業立地を促進するため、企業の施設整備や地元雇用に対して助成した。</p> <table border="0"> <tr> <td>交 付 企 業 数</td> <td>2企業</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>53,609千円</td> </tr> <tr> <td>投下固定資産額</td> <td>343,345</td> </tr> <tr> <td>新規地元雇用者数</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>(3) 企業立地促進開拓員設置運営事業 企業情報の収集、戦略的な企業誘致を促進するため、本社機能が集中する首都圏に企業立地促進開拓員を設置し、企業訪問等の誘致活動を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>新規訪問企業数</td> <td>432社</td> </tr> <tr> <td>延べ訪問企業数</td> <td>462</td> </tr> </table> <p>3 執行額</p> <p style="text-align: right;">1,525,845,800円 (うち補助金 1,511,589,060円)</p>	交 付 企 業 数	34企業	交 付 額	1,455,053千円	投下固定資産額	47,993,627	新規地元雇用者数	402人	交 付 企 業 数	2企業	交 付 額	53,609千円	投下固定資産額	343,345	新規地元雇用者数	1人	新規訪問企業数	432社	延べ訪問企業数	462
交 付 企 業 数	34企業																							
交 付 額	1,455,053千円																							
投下固定資産額	47,993,627																							
新規地元雇用者数	402人																							
交 付 企 業 数	2企業																							
交 付 額	53,609千円																							
投下固定資産額	343,345																							
新規地元雇用者数	1人																							
新規訪問企業数	432社																							
延べ訪問企業数	462																							

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>「企業の森・産学の森」事業            (ものづくり振興課)            (染織・工芸課)</p>	<p>1 施策の趣旨等            公益財団法人京都産業21を通じた産産・産学連携グループの創出・育成により、新たな事業展開、国内外への販路開拓を後押しし、新たな産業文化を創生する。</p> <p>指標：事業計画、研究開発、販路開拓、事業化に伴う設備投資の取組件数            目標：20件 実績：26件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「企業の森・産学の森」推進事業            高付加価値の製品・サービスを創出し、新たな産業文化を創生する産産・産学連携グループ(=企業の森・産学の森)の形成から、製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資等を一貫して支援する助成事業を実施した。            交付件数 26件            交 付 額 421,765千円</p> <p>(2) 京都「新文化産業」強化支援事業            伝統産業の事業者又はグループによる販路開拓や商品開発等に繋がる取組を支援する助成事業を実施した。            交付件数 12件            交 付 額 6,000千円</p> <p>(3) 京都イノベーション創出ネットワーク運営事業            公益財団法人京都産業21が運営する「京都イノベーション創出ネットワーク」による共同研究プロジェクトの創出支援や研究開発サポート体制を構築する事業に対して助成した。            会員企業数 229社            実施事業：特許調査、市場動向調査、システム運用保守等            交 付 額 19,500千円</p> <p>(4) 健康創出産業振興事業            中小企業との健康創出産業分野への進出やウエルネスベンチャーの育成を支援するため、京都大学・京都府立医科大学等の関係大学、府、京都市等で構成する「京都ウエルネス産業コンソーシアム」が実施するコンソーシアム共同研究交流支援事業に対して助成した。            実施事業数 2事業            交 付 額 800千円</p> <p>3 執 行 額 448,065,000円            (補助金)</p>

		<p>京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業</p> <p>(生活衛生課) (ものづくり振興課) (人材確保推進室) (観光室)</p>	<p>1 施策の趣旨等</p> <p>公益財団法人京都産業21及び京都府中小企業団体中央会を通じて、京都経済の原動力である中小企業の成長・発展に向け、製造業から小売サービス業までを対象に、オール京都で組織する中小企業応援隊等が、事業計画策定段階から本格展開まで伴走型により一貫支援を行う。</p> <p>指標：事業創生、研究開発、販路開拓、事業化に伴う設備投資の取組件数 目標：40件 実績：43件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業</p> <p>自社独自の強みを活かし、新商品・新サービス・新ビジネスモデル等の開発や新分野進出等の新規事業に取り組む中小企業等を対象に、支援メニューをパッケージ化し、各企業に応じた最適な育成メニューを提供することにより、事業計画の策定から設備投資まで、あらゆる段階からのチャレンジを支援した。</p> <p>ア 事業創生コース 新規事業計画の見極めのための市場調査等に要する経費の一部を助成した。</p> <p>イ 事業化促進コース 試作品・サービス等の開発、テスト販売等による本格的な市場調査等に要する経費の一部を助成した。</p> <p>ウ 本格的事業展開コース 実用化に向けた応用研究・生産技術開発、生産・販売・サービス提供のための設備の導入に要する経費の一部を助成した。 交付件数 43件 交付額 404,847千円</p> <p>(2) R&amp;D集積形成促進事業 「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」に拠点を設置する大学等研究機関や中小企業などが取り組む研究開発の加速化・早期事業化に対して助成した。 交付件数 11件 交付額 8,250千円</p> <p>(3) 京都府公衆浴場設備改善事業 公衆衛生の維持及び増進に不可欠な公衆浴場の経営を支援するため、浴場業用の設備改善に対して助成した。 交付件数 13件 交付額 4,608千円</p> <p>(4) 旅館等受入環境整備事業 旅館等の宿泊施設の経営を支援するため、訪日外国人観光客の受入等に要する施設改修に対して助成した。 交付件数 4件 交付額 3,692千円</p> <p>(5) 労働生産性向上推進事業 中小企業等の労働生産性向上を支援するため、人手不足に対応するための労働生産性向上に資するIoTツールの導入等に対して助成した。 交付件数 36件 交付額 25,849千円</p>
--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業 (経済交流課)	<p>3 執行額 447,246,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 日本海側拠点港である京都舞鶴港において、国際海上コンテナ航路の拡充、国際フェリー航路の開設及び外航クルーズの誘致に向けたソフト・ハード一体となった事業を推進することにより、京都舞鶴港のゲートウェイ機能の強化を図る。</p> <p>指標：コンテナ取扱量 目標：20,000TEU 実績：13,145TEU</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) コンテナ20,000TEU実現事業 航路の拡充、貿易の拡大等を図るため、一般社団法人京都舞鶴港振興会が行うポートセールス等の事業に対して助成した。</p> <p>ア コンテナ貨物等の集荷及びポートセールスの実施 コンテナ取扱量 令和元年 13,145TEU</p> <p>イ 京都舞鶴港トライアル利用促進特別支援事業の実施 北近畿に立地する事業者を中心に外国貿易貨物の京都舞鶴港でのトライアル利用を促すため、貿易取扱事業者の取扱コンテナに対して助成した。 支援状況 12,672TEU</p> <p>(2) 日韓露国際フェリー航路利用拡大事業 日韓露国際フェリー航路の利用拡大を図るため、貿易取扱事業者の取扱貨物に対して助成した。 支援状況 1,110TEU相当分</p> <p>(3) 国際クルーズ誘致事業 京都舞鶴港、小樽港、伏木富山港、秋田港、境港の5港で組織する「環日本海クルーズ推進協議会」や、令和元年から加盟したアジア・クルーズ・ターミナル協会を通じて海外船社の情報収集を行い、国際フォーラム等を利用した海外船社誘致PR活動を実施した。 寄港回数 35回 旅客数 63,700人</p> <p>(4) 京都舞鶴港クルーズ誘致強化事業 旅行会社等とタイアップした舞鶴乗船共同プロモーションを実施し、京都舞鶴港発着クルーズ説明会を開催した。また、海外クルーズ見本市等に参加しポートセールスを実施した。</p> <p>(5) 貿易振興対策事業 京都舞鶴港の振興を図るため、貿易関係団体への助成や対岸諸国等との連携によるポ-</p>

			トセールス、港湾関連用地への物流関連企業等の誘致等を実施した。												
			3 執行額 134,158,766円 (うち補助金132,933,888円)												
		中小企業共同型ものづくり支援事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 公益財団法人京都産業21を通じて、IoT技術を駆使して、受注・設計・生産進捗管理の状況などの「情報の共有化」、共有機械の設置や遊休機械の利活用などの「工作機械の共有化」、またはその組み合わせ等により中小企業同士の連携・一体化を促進するため、その実現に向けた取組を計画策定段階から実施段階に至るまで一貫して支援することで、府内中小企業の連携・一体化を促進し、中小企業の生産性向上を図る。  指標：プロジェクト創出件数 目標：7件 実績：8件												
			2 施策の実施状況 IoT等による中小企業連携・一体化（共同利用を前提とした最適な設備や必要な技術調査、運用ルールの検討から、受注・設計・生産進捗管理等の情報、工作機械等の共有化まで）を促進し、中小企業の生産性・競争力アップを支援する助成事業を実施した。 交付件数 8件 交付額 133,748千円												
			3 執行額 133,748,000円 (補助金)												
		北部産業活性化推進事業 (ものづくり振興課)	1 施策の趣旨等 「北部産業創造センター」及び「丹後・知恵のものづくりパーク」を核に、北部地域における中小企業の技術の高度化やものづくり人材の育成、新分野展開に向けた取組等を支援することにより、北部地域の産業振興を推進する。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術相談件数</td> <td>500件</td> <td>670件</td> </tr> <tr> <td>機器貸付件数</td> <td>720</td> <td>1,088</td> </tr> <tr> <td>人材育成研修の延べ受講者</td> <td>1,000人</td> <td>2,323人</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	目 標	実 績	技術相談件数	500件	670件	機器貸付件数	720	1,088	人材育成研修の延べ受講者	1,000人	2,323人
指 標	目 標	実 績													
技術相談件数	500件	670件													
機器貸付件数	720	1,088													
人材育成研修の延べ受講者	1,000人	2,323人													
			2 施策の実施状況 (1) 北部産業創造センター推進事業 中丹地域をはじめとする北部ものづくり企業の活性化を図るため、「北部産業創造センター」において、中小企業の技術力の強化・高度化への支援を実施した。												

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>企業相談実施数 482件            各種機器の貸付 1,088            各種機器及び技術開発に関する中小企業向けセミナーの開催 54回 延べ656人</p> <p>(2) 北部産業活性化拠点・京丹後推進事業            丹後地域の地場産業の一層の成長と次世代の産業振興を図るため、「丹後・知恵のものづくりパーク」において、ものづくり人材の育成・確保や中小企業の総合支援を行い、丹後地域をはじめとする北部地域の産業振興を推進した。</p> <p>ア 京都・丹後ものづくり等人材育成推進事業            技術連携やネットワーク強化など多様な手法により、地域の企業ニーズに即したものづくり技術者の育成とその高度化など、人材育成のための各種研修等を実施した。</p> <p>(7) 丹後基盤技術担い手育成事業            金属熱処理技術基礎研修等 22講座 延べ 354人</p> <p>(4) 研修実施支援事業            シーケンス制御基礎講座等 11 “ 841</p> <p>(ウ) 人材育成確保・流入促進事業            ものづくり基礎技術習得研修等 7 “ 472</p> <p>イ 丹後・知恵のものづくりパーク運営費等補助金            拠点の管理運営及び人材育成会議等に要する経費について、運営主体である公益財団法人京都産業21に対して助成した。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">102,158,458円 (うち補助金 56,687,000円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等            京都経済センターを核として、オール京都体制により「スタートアップ支援の強化」、「中小企業へのワンストップサポート」及び「人材育成のレベルアップ」を実施する。</p> <p>指標：京都経済センター内の共創の場を活用した企業・経営支援及び人材育成のためのイベント開催回数            目標：240回 実績：305回</p> <p>2 施策の実施状況            (1) スタートアップ支援強化事業            ア 交流・連携促進事業            オープンイノベーションカフェ（KOIN）を活用し、様々な分野の方々が交流、連携するイベントを開催した。</p>
			次世代人材育成・産業創造事業 (中小企業総合支援課) (ものづくり振興課)	

				<p>開催回数 79回 参加者数 延べ2,947人</p> <p>イ 創業者のレベルに応じた支援 創業者のレベルに応じた創業ゼミを開催した。 開催回数 80回 参加者数 延べ575人</p> <p>ウ 起業支援事業 起業支援事業費補助金により創業の場や創業ゼミから生まれた起業者等に対する助成を実施した。 採択件数 9件 交付額 13,569千円</p> <p>(2) 中小企業へのワンストップサポート</p> <p>ア 中小企業応援センターの設置 京都経済センターに「中小企業応援センター」を設置し、中小企業の状況に応じたワンストップサポートを伴走支援により実施した。 相談件数 1,459件</p> <p>イ 産学公連携の推進に関する事業 産学公の相互連携と協働による支援体制を構築し、大学のシーズと企業のニーズのマッチングのために若手研究者発掘支援事業（プレマッチングイベント）等を開催した。 また、企業と大学の橋渡しのため相談窓口を設置し、新事業や新産業の創出を支援した。 イベント参加者数 138人 相談件数 20件 橋渡し件数 14</p> <p>ウ スマート社会実現化事業 エコ・エネルギーやAI・IoT等、スマート社会実現のために必要な課題の解決や新事業展開等を補助金により支援した。 交付件数 13件 交付額 13,735千円</p> <p>(3) 人材育成のレベルアップ 府内の各支援機関が実施する人材育成事業や研修をオール京都体制で実施し、コーディネート人材のためのスキルアップセミナーや知的財産セミナーを開催するとともに、中小企業大学校と連携した高度人材の育成を実施した。 セミナー参加者数 延べ363人 人材育成事業受講者数 // 27</p> <p>3 執行額 100,229,570円 （うち補助金 60,529,721円） 負担金 35,565,000）</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>小規模製造業設備投資等支援事業 (ものづくり振興課)</p> <p>商店街創生センター総合支援事業 (中小企業総合支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 公益財団法人京都産業21を通じて、小規模企業の製造現場で発生している、人手不足等に起因する生産上の課題を解決する取組を支援し、生産性の確保・向上を図る。</p> <p>指標：生産性向上への取組件数 目標：20件 実績：25件</p> <p>2 施策の実施状況 生産性の確保・向上に向けて必要な設備投資等に対して助成した。 交付件数 25件 交 付 額 84,568千円</p> <p>3 執 行 額 84,568,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 商店街の活性化を図るため、商店街創生センターが府内各商店街を訪問し、商店街の特性に応じた施策を、京都経済センターに集積する関係団体と一体となって実施することで、地域と連携したまちづくりを支援する。</p> <p>指標：商店街創生センター及び関係団体による商店街訪問回数 目標：延べ120回 実績：延べ139回</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 商店街創生センターによる支援 ア 創生商店街活性化モデル創出事業 商店街の課題・特性に応じた活性化モデルを創出するため、創生商店街の支援団体の取組に対して助成した。 交付件数 1件 交 付 額 5,000千円 イ テーマ設定型(活性化モデル波及)商店街応援事業 地域資源の活用など自らが設定したテーマに基づく活性化策の実現に向けた取組に対して助成した。 交付件数 13件 交 付 額 13,728千円 ウ 商店街にぎわい施設・設備整備事業</p>



			<p>伝統産業統合支援事業 (染織・工芸課)</p>	<p>人々が集い「交流する」商店街づくりに向けた商店街の誘客・賑わい創出等を図るため、街路灯等の整備に対して助成した。      交付件数 25件      交 付 額 29,433千円</p> <p>エ 商店街アイデア実現プロジェクト事業      商店街の活性化を図るため、民間団体のアイデアによる商店街のにぎわい創出や来街者の増加を図る事業に対して助成した。      交付件数 8件      交 付 額 1,476千円</p> <p>オ 新しい商店街づくり連携支援事業      新しい商店街づくりを支援するため、店舗の空洞化が著しい中心市街地商店街において、行政・地域の諸団体・企業及び住民等と連携した中心市街地の広域的な商業活性化に取り組む事業に対して助成した。      交付団体 京都府商店街振興組合連合会      交 付 額 4,500千円</p> <p>(2) 商店街創生センター運営事業      商店街創生センターが府内各商店街を訪問し、商店街の特性に応じた企画・事業づくりや情報発信を支援するとともに、商店街の活性化に取り組む人とそれを応援する人との新たなネットワークづくりのためのフォーラム等を開催した。      訪問回数 延べ310回      情報発信 商店街等の情報をHPやSNS等で発信      商店街ネットワークサロンの開催 4回      京都商店街創生フォーラムの開催 1</p> <p>(3) CMO創設への支援      CMO（京都地域商業再生機構）による地域の関係者と連携した新しいコミュニティ再生の取組に対して助成した。      交付団体 株式会社白川まちづくり会社      交 付 額 5,889千円</p> <p>3 執 行 額 83,105,819円      (うち補助金 65,203,482円)</p> <p>1 施策の趣旨等      伝統産業の生産基盤を支える織物産地等における設備投資を支援する。      指標：支援件数 目標：150件 実績：140件</p> <p>2 施策の実施状況      伝統産業の中小企業や産地組合が実施する商品開発・生産体制の強化等に必要な生産設備</p>
--	--	--	--------------------------------	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	次世代職人育成事業 (染織・工芸課) 産業立地課	<p>の新設・改修、伝統的技法に基づく製造に必要な道具類の確保等に対する助成を行った。            交付件数 140件            交 付 額 78,579千円</p> <p>3 執 行 額 78,579,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等            伝統産業の若手職人を育成するため、新たなものづくりが生まれる場として「京都職人工房」を運営するとともに、試作開発、国内外の販路開拓までを伴走型で一貫支援する。</p> <p>指標：マーケットイン型産業への変革を推進するための支援件数            目標：100件 実績：82件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 職人工房の展開            若手職人等へ活動の場を提供することにより、異分野との交流促進、商品の試作や国内外の販路開拓機会の創出を支援した。</p> <p>ア 京都職人工房・新光悦村            移動可能な職人工房2台を活用し、京都新光悦村の現地説明会等を行った。</p> <p>イ 京都職人工房・丹後            織物の各製造工程に精通した多能工職人を育成する人材育成研修及び丹後ちりめんを素材としたインテリア商品開発を行うものづくり研修を実施した。            受講者数 延べ486人</p> <p>ウ 京都職人工房・KRP(京都リサーチパーク)            工芸職人とハイテク産業との交流を図るため、シェアオフィスの活用による研修プログラムを実施した。            プログラム数 5件            参加者数 延べ41人</p> <p>(2) 新堀川魅力創造事業            若手伝統工芸職人やアート&amp;クラフト関係者の活動を支援するため、堀川団地内の空き店舗を活用し、作品展示会やワークショップなどを開催した。            展示会、ワークショップ等開催数 10回</p> <p>(3) 次世代職人新商品づくり支援事業            次代を担う職人が挑戦する異業種交流を通じた新たな商品の試作開発に対して助成した。</p>

			<p>「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクト事業 (経済交流課)</p>	<p>交付件数 25件 交 付 額 5,272千円</p> <p>(4) 京ものクオリティ市場創出事業 国内外での販路開拓を目指す事業者が、国内外の市場に精通したプロデューサー等との連携のもと、東京の百貨店等での販売スペースの設置、海外の販売代理店を通じたマーケット開拓、マーケットニーズを踏まえた商品開発の支援や中国市場向けEコマースを活用した販路開拓を実施した。 支援件数 52件</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">71,256,236円</span> <span style="float: right;">(うち 委託料 48,770,256円 補助金 19,772,000)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 ジェトロ海外事務所や「京都倶楽部」等による海外ネットワークを確立し、京都海外ビジネスセンターを拠点に、海外販路開拓や外資誘致などを戦略的に推進する。</p> <p>指標：新たに海外展開に取り組んだ企業数 目標：20社 実績：22社</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「京都倶楽部」連携事業 世界の主要都市における現地の情報収集等を行う京都人ネットワークを活用し、現地の情報収集や京都情報の発信を行った。 設立都市 ニューヨーク、シアトル、ロサンゼルス、台北、高雄、香港、北京、上海、蘇州、深圳、ソウル、クアラルンプール、シンガポール、バンコク、ハノイ、ミラノ、フィレンツェ、ミュンヘン、パリ、ロンドン</p> <p>(2) 海外物産展等開催事業 海外高級百貨店と連携し京都物産展等を開催するとともに、海外の国際展示会への京都ブース出展を行った。 (対象国・地域) 中国、香港、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ、イタリア、ドイツ、アメリカ 成約件数：154件</p> <p>(3) バイヤー招へい事業 世界各国からインポーター・小売店等のバイヤーを京都に招へいし、商談会を実施した。 (対象国・地域) 中国、香港、シンガポール、アメリカ 成約件数：37件</p> <p>(4) 越境EC推進事業 海外向けネットショップを活用し、中国を中心としたアジア富裕層に伝統工芸品等の逸</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>品を紹介・販売した。 販売額：55,000千円</p> <p>(5) 上海サポートデスク等設置事業 対日投資促進活動、京都産品の販路開拓支援を実施した。</p> <p>(6) ジェトロ京都運営事業 オール京都（府・市・商工会議所等）でジェトロ京都貿易情報センターの運営を支援するとともに、府内企業の貿易相談対応や海外進出支援、海外販路開拓（商談会、セミナー開催等）を実施した。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">62,709,314円 (うち補助金 62,159,000円)</span></p>
			けいはんなオープンイノベーションセンター活用推進事業 (ものづくり振興課)	<p>1 施策の趣旨等 「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」への、多彩な共同研究プロジェクト集積等を目的とした取組を推進する。</p> <p>指標：KICKにおける共同研究プロジェクト数 目標：20件 実績：23件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) KICKへのプロジェクト等の集積を促進するため、国内外の研究者をはじめ企業や大学等に対するプロモーションを実施した。 プロジェクトの集積数 23件</p> <p>(2) KICKについて、公益財団法人京都産業21への無償貸付を行い、その管理運営を助成するとともに、現行機能の維持・回復に必要な修繕等を実施した。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">58,432,222円 (うち 工事請負費 12,372,560円 補 助 金 43,954,293 )</span></p>
			国際アート市場形成事業 (染織・工芸課)	<p>1 施策の趣旨等 伝統工芸に止まらず、アート、デザインも含めた「KOUGEI」をキーワードに、京都に集結する国内外のものづくり関係者の相互交流を促進するとともに、「KOUGEI」の魅力を国内外に発信することを通じて、「KOUGEI」市場の拡大等を実現する。</p> <p>指標：「KYOTO KOUGEI WEEK」での商談件数 目標：500件 実績：513件</p>

			<p>京都クロスメディアパーク整備事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>2 施策の実施状況 ICOM（国際博物館会議）京都大会2019の開催に合わせて、各種イベントを実施した。</p> <p>(1) 京都府域工房ツアー 国内外バイヤー等を対象とする工房巡回ツアーを宇治市及び亀岡市で実施した。 参加者数：16名 商談件数：60件</p> <p>(2) 企画展示、商談会等 ア 企画展示 漆をテーマとする企画展示及びワークショップを開催し、「KOUGEI」の視点から循環型社会の構築に対するメッセージを発信した。 来場者数：660名 商談件数：15件 イ ICOM京都大会2019及び「KYOTO KOUGEI WEEK」関連事業 府内各団体の主導により開催された展示商談会、展覧会等を「KYOTO KOUGEI WEEK」関連事業として一体的にPRした。 来場者数：10,000名超 商談件数：55件 ウ 展示販売商談会 アート&amp;クラフト関係のイベントが集中的に開催された令和2年2月下旬に、京都の若手職人等の作品を国内外バイヤー等に紹介する展示販売商談会を開催し、販路拡大や新しいビジネス展開を支援した。 来場者数：661名 商談件数：383件</p> <p>(3) 国際シンポジウム ICOM京都大会2019登壇者等も含む国内外の「KOUGEI」関係者を講師に招いてのパネルディスカッションを開催した。 参加者数：150名</p> <p>3 執行額 53,250,000円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 映像を核としたクロスメディア産業の育成と府内への波及を図るため、産学公で設置した「京都クロスメディアパーク推進会議」のもと、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークの形成、府内に波及効果をもたらす事業を総合的に展開する。</p> <p>指標：映画・コンテンツ産業を担う若手クリエイターの育成人数 目標：80人 実績：130人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 産学連携拠点整備事業 人材育成・技術承継・産学共同研究開発・中小ベンチャー育成支援等の機能をあわせ持</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>つ一大メディア産業拠点である「京都クロスメディアパーク」の形成に向け、太秦地域における産学連携による事業実施や企業誘致、新産業創出のための情報交換等を行った。</p> <p>(2) デジタルリマスター推進事業 フィルム等で保存されている優れた映像資産の保全と利活用により新たな産業を創出するため、デジタル化や修復を行う人材育成事業を実施した。 育成者数 12人</p> <p>(3) クロスメディアクリエイター人材育成事業 映画・映像、ゲーム等のクリエイターの制作活動支援等を通じて、コンテンツ産業を担う若手クリエイターの育成事業を実施した。 育成者数 115人</p> <p>ア <b>KYOTO CMEX 2019開催事業</b> 京都が持つポテンシャルを国内外に発信するとともに、クリエイターの国際的な交流、次世代のコンテンツ産業を支える人材育成等を推進するため、オール京都のコンテンツ振興イベントを開催した。 開催時期 令和元年6月～令和2年1月 開催場所 東映京都撮影所、松竹撮影所、東映太秦映画村、京都文化博物館 ほか 参加者数 148,297人</p> <p>イ 京都太秦シネマフェスティバル開催事業 太秦を基盤とした「コンテンツコミュニティ」の形成を図るため、子ども映画製作ワークショップ、歴史創作コンテンツファンが集い交流するイベント等を開催した。 開催時期 令和元年10月19日、11月16日～17日 開催場所 東映太秦映画村 参加者数 8,119人</p> <p>ウ <b>BitSummit7spirits</b> 日本のインディーゲームを京都から世界に発信するため、ゲーム開発チームによるブース出展、ゲームクリエイター等による講演・パネルディスカッションを開催した。 開催時期 令和元年6月1日～2日 開催場所 みやこめっせ（京都市勧業館） 参加者数 17,038人</p> <p>エ 京都eスポーツサミット2020 Winter 世界的に注目されている「eスポーツ」関連のイベントを府内ゲームメーカーなどの参画のもと開催し、ゲーム産業関連の情報発信などを実施した。 開催時期 令和2年1月12日 開催場所 京都産業会館ホール 参加者数 170人</p> <p>(4) 国際ネットワーク形成事業 京都ヒストリカ国際映画祭において国内外の関連する取組との連携強化及びネットワー</p>

			<p>丹後・知恵のものづくりパーク機能強化事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>ク形成を図り、多彩なゲストによるトークショーを行うとともに、東京国際映画祭と連携したマスターズセッションを実施した。 開催時期 令和元年10月28日～11月4日 開催場所 京都文化博物館 参加者数 2,587人</p> <p>(5) 映像産業等による府内活性化事業 コンテンツの活用による地域活性化と他産業への波及促進を図るため、「ロケスポット京都」運営事業においてオール京都体制で府内ロケ地の情報を一元的に発信した。 ロケ地登録数 498件</p> <p>(6) 京都デジタルアミューズメントアワード事業 次代を担う若手コンテンツクリエイター等を表彰し、今後の制作活動を奨励するとともに、優れた才能を有する若手コンテンツクリエイターを京都から世界に発信した。 受賞作品 大賞1件、部門賞2件</p> <p>3 執行額 <span style="float: right;">46,306,162円 (うち 委託料 12,800,000円 分担金 31,000,000)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 府北部地域におけるものづくり産業の支援を担う中核拠点として、「丹後・知恵のものづくりパーク」の機能を強化し、地域の課題である製造業の人材育成・確保等を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 人材育成の強化及び新事業創出の促進 地域の中小企業が持つ課題の解決や技術の高度化を推進するため、人材育成の強化やオープンイノベーションの更なる促進を図った。</p> <p>ア VR技術を活用した効率的な先端的疑似操作体験研修の実施 研修回数 16回 参加者数 延べ601人</p> <p>イ 未経験者向け等の3次元CAD研修の実施 研修回数 6回 参加者数 延べ56人</p> <p>ウ 交流スペースを活用した産学公連携によるアイデアソン等の実施 交流スペース利用者数 延べ1,164人 アイデアソン参加者数 27人 創出アイデア数 4件</p> <p>(2) 中小企業支援のための機器の更新 北部地域のものづくり企業支援に必要な整経機を時代に即して更新・整備した。</p>
--	--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	次世代地域産業推進事業 (ものづくり振興課)	<p>3 執 行 額 <span style="float: right;">43,058,000円</span>  <span style="float: right;">(うち 備品購入費 31,900,000円)</span>  <span style="float: right;">補 助 金 2,129,000)</span></p> <p>1 施 策 の 趣 旨 等          公益財団法人京都産業21を通じて、iPS、AI等、今後の経済成長に不可欠な最先端技術分野において、国の研究機関や大学、中小企業、ベンチャー等が参画する産学公連携プロジェクトを育成し、オープンイノベーションの更なる推進により、新産業の創出、府内経済の活性化を図る。</p> <p>指標：プロジェクト創出件数          目標：5件 実績：5件</p> <p>2 施 策 の 実 施 状 況          iPS、AI等の最先端技術を用いるプロジェクトの育成、事業化促進の取組に対して助成した。</p> <p>交付件数 <span style="float: right;">5件</span>          交 付 額 <span style="float: right;">41,027千円</span></p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">41,027,000円</span>  <span style="float: right;">(補助金)</span></p>
			匠の公共事業 (染織・工芸課) (観 光 室)	<p>1 施 策 の 趣 旨 等          京都の和装・伝統産業は、日本の文化を支え、世界に誇りうる府民共有の財産であることから、京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、和装・伝統産業の基盤づくり(人材育成・技術継承、新たなものづくりの推進、需要基盤形成のための普及啓発)を積極的に推進する。</p> <p>指標：貴重な文化資料の復元新調数 <span style="float: right;">目標：5件 実績：7件</span></p> <p>2 施 策 の 実 施 状 況          (1) ひとつづくり          京都未来の匠「技の継承」事業          京の名工等と若手職人が協働して行う祇園祭や社寺等の貴重な文化資料の復元新調事業に対して助成した。</p>



			<p>京都スマートシティエキスポ2019・国際シンポジウム開催事業 (文化学術研究) (都市推進課)</p>	<p>交付件数 7件          交付額 7,810千円          事業内容 龍頭の金箔押復元ほか</p> <p>(2) 環境づくり</p> <p>ア 「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業          「きものの似合うまち・京都」の定着と和装需要の拡大を促進するため、「きものパスポート」を発行した。          パスポート発行部数 6万部、パスポート特典件数 450件</p> <p>イ 「京の伝統・食と文化」魅力発信事業          府内地場産品の普及宣伝及びその需要開拓を図るため、府内の異業種の組合等が共同で開催する物産展に対して助成した。          開催期間 令和元年9月11日～17日          開催場所 大丸京都店          出店数 75社(工芸24社、食品51社)          参加者数 296,494人</p> <p>3 執行額</p> <p style="text-align: right;">35,042,308円          (うち 補助金 28,988,000円          負担金 5,000,000)</p> <p>1 施策の趣旨等          ICTや環境・エネルギーなどスマートシティに関する多面的な産業の知見や技術に関する国際会議をけいはんな学研都市等で継続的に実施し、国際的なビジネス交流を促進するとともに、学研都市を内外に広く発信する。</p> <p>指標：スマートシティエキスポへの参加者数          目標：12,000人 実績：12,350人</p> <p>2 施策の実施状況          京都企業等の技術PRやビジネス交流等を促進・支援するため、「京都スマートシティエキスポ2019」を開催した。          開催期間 令和元年10月3、4日          開催場所 けいはんなオープンイノベーションセンター、国際高等研究所、けいはんなプラザ</p> <p>テーマ 「安寧で持続的な未来を創る地域と産業」          内容 スマートシティセミナー(講演)、企業等展示、全国自治体交流シンポジウム等          参加者数 国内・海外合わせて12,350人(うち海外27箇国・地域から534人)</p>
--	--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	けいはんな高度イノベーション創出事業 （文化学研究） 都市推進課	<p>3 執 行 額 <span style="float: right;">22,813,000円 (うち負担金 22,218,120円)</span></p> <p>1 施 策 の 趣 旨 等                      けいはんな学研都市に集積する企業・研究機関・大学等が核となり、産学・産産連携や研究成果の共同利用を通じた企業の新製品・サービスの実用化等をサポートする仕組みを構築し、府内企業のオープンイノベーション（外部の技術・知識を活用した研究開発）を促進し、新事業・新産業創出を図る。</p> <p>指標：けいはんなR&amp;Dイノベーションコンソーシアムの参画企業・研究機関数                      目標：60企業・研究機関 実績：117企業・研究機関</p> <p>2 施 策 の 実 施 状 況</p> <p>(1) 「RDMM支援センター」の運営                      目 的 企業や研究機関、大学等の連携を基軸に研究開発から事業化までワンストップで支援する。                      機 能 知財調整・利害調整による産官学連携の加速、人材育成・人材交流等の促進                      活動実績 ア 人材育成プログラム（ナノテクノロジー高度人材育成プログラム等）の提供                      イ 住民参加による新事業創造のためのサポーター組織（Clubけいはんな）の設立・運営（会員数2,672人、住民参加型調査27件）                      ウ 「公道走行実証実験プラットフォーム」（K-PEP）を運営し、自動運転に係る実証実験等を実施</p> <p>(2) 「けいはんなR&amp;Dイノベーションコンソーシアム」の運営                      目 的 産官学連携、異業種連携プロジェクトを、オープンイノベーションを基軸として推進する。                      参加企業 117企業・研究機関                      機 能 各種セミナー・ワークショップの開催、新事業創出に向けたワーキングの実施                      活動実績 49会員、72名が「新テーマ創出」、「農・食」、「健康」、「モビリティ・エネルギー」の4分野のWG活動に参画し、新事業開発プロジェクトの創出に向け活動</p> <p>(3) グローバル連携の推進                      目 的 ASEAN、IORN（環インド洋連合）との新産業創出・イノベーション連携プラットフォーム（AIJ-PF）を構築するとともに、海外サイエンスシティと包括連携協定を締結し、事業連携を進める。                      活動実績 ア ASEAN 5カ国（タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、台湾）とAIJ-PFを構築し、タイのサイエンスパークと関西7社との間で連携事業</p>

				<p>を検討 イ タイ・チェンマイ大学や現地企業と協業検討 5プロジェクト</p> <p>3 執行額 11,165,295円 (うち補助金 9,900,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 南田辺西地区の土地活用に向けて、今後の開発計画の方針を定めるため、環境事前調査を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 昨年度に引き続き、希少猛禽類の生息実態を把握するため定点調査を実施した。 調査期間 平成31年2月から令和元年8月 調査内容 巣探し定点調査、営巣地確認調査、繁殖状況調査、行動圏調査等 調査結果 南田辺西地区及び同地区周辺に猛禽類の飛翔を確認。同地区内の周辺(南西約2km)に営巣が確認されたが、同地区内に営巣等は確認されなかった。</p> <p>3 執行額 8,878,761円 (委託料)</p> <p>1 施策の趣旨等 令和元年10月の消費税率の引上げに伴い、地域消費喚起対策を実施し、商店街等への誘客促進や地域の活性化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 商店街や商工会・商工会議所等が実施する「プレミアム商品券」の発行を支援した。 交付件数 17件 交付額 8,211千円</p> <p>3 執行額 8,211,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 けいはんな学研都市において、世界に先駆けて科学技術によるスマートな暮らしの実現に向け、ICTを活用した「エネルギー自給型の持続可能な都市づくり」を、産学公住が一体となって推進する。</p>
		南田辺西地区環境事前調査事業 (文化学術研究) (都市推進課)		
		地域消費拡大事業 (中小企業総合支援課)		
		けいはんな <sup>イ</sup> e <sup>2</sup> 未来都市創造推進事業 (文化学術研究) (都市推進課)		

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>京の「KOUGEI」グローバル市場展開事業 (染織・工芸課)</p>	<p>2 施策の実施状況 けいはんな学研都市の立地機関等のスマート化や未来都市の発信を推進するため、(公財)関西文化学術研究都市推進機構が実施する事業に対して助成した。</p> <p>(1) 未来都市体感・情報発信事業 エネルギー未来都市の全体像や、関連する京都府の取組等をわかりやすくアピールするため、「次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」の成果などを展示する「けいはんなe<sup>1/2</sup>未来スクエア」等による情報発信の実施 けいはんな学研都市への視察の受入 73件 けいはんなe<sup>2</sup>未来スクエアの運営 来場者 628人 環境学習会の開催 参加者 420</p> <p>(2) けいはんな未来都市まちぐるみ創造事業 けいはんな学研都市の関係機関のネットワークのハブとなる「新たな都市創造会議」の運営を支援し、新たな都市創造を推進</p> <p>3 執 行 額 7,870,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 令和元年5月の中国の投資会社「复星(フーシン)国際有限公司」との京都製品の販売促進に係る協定締結を受けて、京もの工芸品のグローバル市場展開拠点において、オール京都でマーケットイン型のものづくりを促進する。</p> <p>2 施策の実施状況 伝統的な技術と市場ニーズを融合させた京都の「KOUGEI」を国際市場へ展開するため、物流やプロデュース機能を有するプロジェクトチームを設置するとともに、令和元年12月に上海市内にオープンした「KYOTO HOUSE」を拠点とした販路拡大に取り組んだ。</p> <p>(1) 「KYOTO HOUSE」オープニングイベントの展開 令和元年12月19日の「KYOTO HOUSE」内で開催されたオープニングセレモニーに知事が参加するとともに、12月19日～22日までの期間中、現地で京都の若手職人によるトークイベント、現地消費者向けの実演販売や商談会を実施した。</p> <p>(2) 「KYOTO HOUSE」を活用した京都の「KOUGEI」の販路開拓支援 「KYOTO HOUSE」に出店を希望する京都府内の伝統工芸事業者等の募集及び販売支援のため、「KYOTO HOUSE」バイヤーチームを招へいし、若手職人等との商談機会を創出した。 現地での商談会 令和元年12月 京都での商談会 令和2年1月及び2月</p>

			<p>商店街等緊急販売促進事業 (中小企業総合支援課)</p>	<p>3 執行額 6,991,820円 (うち負担金 6,500,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 消費税引上げ後の需要喚起のため、商店街等や小売サービス事業者のグループ等が実施する大売り出し等の売り上げ向上に繋がる取組を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 商店街等や小売・サービス事業者がグループ等で行う大売り出し等、売り上げ向上に繋がる取組に係る経費に対して助成した。 交付件数 33件 交付額 6,679千円</p> <p>3 執行額 6,679,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 デジタル技術が府民生活に急速に浸透する一方、人手不足が深刻化するなど様々な課題が表面化しているため、様々な分野での課題解決プロジェクトを組成し、政策課題の解決並びにAI・IoT等の先端技術の普及・活用を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 「京都府AI・IoT活用推進会議」の開催 産学公により構成する「京都府AI・IoT活用推進会議」を設置し、府の観光、健康、環境、農業、建設等の各分野における政策課題を集約し、AI・IoT等の活用により解決策を検討した。</p> <p>(2) 課題解決プロジェクトの推進 AI・IoT等の活用による政策課題解決のため、中小企業応援隊を対象とした資質向上セミナーを実施したほか、各部局、大学、公益財団法人京都産業21などの支援機関、AIベンチャー等の事業者が連携して、必要なデータ収集の支援や補助金等各種施策の活用により、プロジェクト実現に向けた伴走支援を実施した。</p> <p>ア 「先端技術活用支援セミナー」の開催 AI・IoT等の活用による業務改善を目指すものづくり企業に対して、最新の技術動向を情報提供した。 開催回数 1回 参加者数 64名</p> <p>イ 「中小企業応援隊等産業支援機関向けAI・IoTセミナー」の開催 府内中小企業の伴走支援を行う中小企業応援隊等産業支援機関に対し、AI・IoTセ</p>
			<p>AI・IoT活用型ソリューション推進事業 (情報政策課) (ものづくり振興課) (文化学術研究都市推進課)</p>	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	けいはんなコンベンション誘致推進事業 (文化学術研究) 都市推進課	<p>ナーを実施し、AIファシリテーターを育成した。 開催回数 3回 参加者数 延べ140名</p> <p>ウ 京都ビッグデータ活用プラットフォーム事業の実施 大学・研究機関、企業、行政等の多様なメンバーが参画する官民プラットフォームにおいて、データの利活用を促進し、新たなサービスの創出や事業連携を通じ産業活性化を図るため、課題別ワーキング活動等を実施した。 全体会議 開催回数 1回 参加者数 164名 課題別ワーキング活動・セミナー 開催回数 5 参加者数 延べ295</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">4,655,937円</span> <span style="float: right;">(うち 補助金 3,655,937円)</span> <span style="float: right;">負担金 1,000,000)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 けいはんな学研都市に国際会議や学会等を誘致し、国際的な研究交流やビジネス交流を促進するためのプロモーション活動等を展開する。  指標：国際会議等への参加者数 目標：200人 実績：210人</p> <p>2 施策の実施状況 「けいはんなコンベンション誘致推進協議会」によるプロモーション活動を展開し、けいはんな学研都市へのコンベンション誘致を促進した。 (1) 日豪経済合同委員会（産業視察会・パートナーズプログラム）の開催 開催日 令和元年10月8日（火）、9日（水） 場 所 けいはんなプラザ、理化学研究所 他 内 容 上記会議を主催し、日豪経済関係者・政府関係者に学研都市をPR 参加者 40人 (2) 日本塑性加工学会春季講演大会に係るエクスカージョン・レセプション企画運営 開催日 令和元年6月7日（金）～9日（日） 場 所 けいはんなプラザ、国会図書館 他 内 容 上記学会に係るレセプション等の企画運営 参加者 30人 (3) 一般財団法人アジア太平洋研究所（APIR）研究会合・交流会 開催日 令和元年10月11日（金） 場 所 けいはんなプラザ、国会図書館 他</p>

			<p>内 容 上記研究会の現地調査等を支援 参加者 20人</p> <p>(4) <b>The 1st International Symposium on Human Informatix</b> 開催日 令和2年2月27日(木)～28日(金) 場 所 (株)国際電気通信基礎技術研究所 内 容 上記会議の開催を支援 参加者 120人</p> <p>(5) 大阪MICEデスティネーションショーケースへの出展 開催日 令和元年12月2日(月) 場 所 グランフロント大阪 内 容 上記イベントへ出展し、関西圏の旅行・観光業者に学研都市をPR 来場者 386団体</p> <p>(6) 第29回国際MICEエキスポ(IME2019)への出展 開催日 令和2年2月26日(水) 場 所 東京国際フォーラム 内 容 上記イベントへ出展し、国際会議・学会主催者、学会・大会、企業会議のプランナーを対象に学研都市をPR 来場者 649人</p> <p>3 執 行 額 3,060,000円 (負担金)</p>
		<p>中小企業海外進出支援 事業 (経済交流課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 海外経済リスクや消費税率引上げ等、経済環境が変化する中、海外取引先の獲得や拡大を目指し、新規に海外見本市等に出展する中小企業へ支援する。</p> <p>指標：海外見本市等への出展件数</p> <p>2 施策の実施状況 初めてまたは未開拓の国・地域の海外見本市等に出展する中小企業(グループ)に対して助成した。</p> <p>交付件数 3件 (内訳)単独企業2件、5社以上で構成されるグループ1件 交付額 1,160,000円</p> <p>3 執 行 額 1,160,000円 (補助金)</p>

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円	<p>ビッグデータ活用推進事業 (文化学研究都市推進課)</p> <p>京都舞鶴港ブランド強化事業 (経済交流課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 産学公が参画する京都ビッグデータ活用プラットフォーム等において、ビッグデータを活用したスマート観光のモデルづくりを推進するなど、観光産業・サービス産業の活性化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 デジタルサイネージから取得する各データをデータ統合連携基盤へ簡易に取り組みシステムの構築等、一般社団法人京都スマートシティ推進協議会に対し支援した。 (1) 各データのコンテンツサーバとデータ統合連携基盤のAPI連携の構築 (2) データの整理、連携基盤の運用管理の実施 他</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">1,000,000円 (補助金)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 京都舞鶴港から乗船できるクルーズのPRセミナーを船社・旅行会社等と連携して実施し、地域周遊観光やクルーズ船寄港回数の拡大を図る。  指標：セミナー開催回数 目標：2件 実績：1件</p> <p>2 施策の実施状況 舞鶴発着の日本海クルーズ（令和2年度実施分）に係る乗船PRを行うため、船社や大手旅行会社とタイアップして舞鶴港の背後圏の居住者向けに説明会を開催した。 舞鶴発着日本海クルーズ説明会 開催日 令和2年1月25日（土） 場 所 ホテルイビス大阪梅田 参加者 46人 内 容 舞鶴発着の日本海クルーズ（コスタクルーズ）の内容説明 舞鶴へのアクセス方法、京都舞鶴港周辺の観光地紹介など ※令和2年1月以降に、大阪と名古屋での説明会開催や新聞広告の掲載等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大阪での小規模なプレ開催1件のみの実施となった。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">46,000円 (補助金)</span></p>





科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円	中小企業総合応援事業 (中小企業総合支援課)	<p>1 施策の趣旨等                      商工会及び商工会議所が行う小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業、商工会連合会が行う商工会の運営指導事業及び京都府中小企業団体中央会が実施する中小企業等協同組合等の活発化に対して助成するとともに、オール京都体制で「中小企業応援隊」による経営改善等の取組を支援することにより、地域経済を支える小規模企業・中小企業の経営安定と発展を推進する。</p> <p>指標：中小企業応援隊による実訪問企業数 目標：25,000社 実績：18,744社                      指標：中小企業応援隊による延べ訪問件数 目標：55,000件 実績：53,542件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 中小企業応援隊事業                      中小企業応援隊が中小企業や商店街等の強みや弱みを把握した上で、中小企業の経営安定や発展を支援するため、訪問コンサルティングを実施した。</p> <p>ア 中小企業応援隊の概要</p> <p>(イ) 構 成 商工会、商工会議所、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会及び公益財団法人京都産業21の経営指導を担当する職員を応援隊員として委嘱</p> <p>(ロ) 隊員数 290人</p> <p>イ 令和元年度訪問件数等                      実訪問企業数 18,416社                      延べ訪問件数 52,159件                      (業種別内訳)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>製造業</td><td>15,048件</td></tr> <tr><td>建設業</td><td>5,402</td></tr> <tr><td>小売業</td><td>13,177</td></tr> <tr><td>卸売業</td><td>2,613</td></tr> <tr><td>サービス業</td><td>13,746</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2,173</td></tr> </table> <p>(2) 中小企業知恵の経営ステップアップ事業                      中小企業等の成長段階に応じた販売促進・設備更新・コスト削減等の経営改善につながる取組や創業・第二創業を支援するため、中小企業応援隊による訪問コンサルティングを通じた助成支援を実施した。</p> <p>交付件数 666件                      交 付 額 118,111千円</p> <p>(3) 商工会、商工会議所等育成等事業                      小規模事業者の経営改善等を推進する事業に対して助成した。</p> <p>ア 商工会及び商工会議所が行う小規模事業者のための経営改善普及事業</p>	製造業	15,048件	建設業	5,402	小売業	13,177	卸売業	2,613	サービス業	13,746	その他	2,173
製造業	15,048件															
建設業	5,402															
小売業	13,177															
卸売業	2,613															
サービス業	13,746															
その他	2,173															

				<p>(7) 交付団体 京都商工会議所、京丹後市商工会など 28団体          交 付 額 1,406,694千円</p> <p>(i) 経営支援員の配置状況</p> <table> <tr> <td></td> <td>経営支援員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>商 工 会 (20箇所)</td> <td>105人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>商工会議所 (8 )</td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>192</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(ウ) 活動状況</p> <table> <tr> <td>経営改善等相談指導</td> <td>45,045件</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>創 業 指 導</td> <td>1,997</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>記 帳 指 導</td> <td>7,606</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>金融のあっせん</td> <td>749</td> <td>あっせん金額</td> <td>5,124,236,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講習会・講演会等の開催</td> <td>1,724回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業主の事務代行</td> <td>2,667事業所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大都市対策特別普及振興事業</td> <td>1件</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域振興推進事業</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>倒産防止対策事業</td> <td>商工調停士の委嘱</td> <td>18人</td> <td>相談件数</td> <td>91件</td> </tr> </table> <p>イ 京都府商工会連合会が行う運営指導事業</p> <p>(7) 交付団体 京都府商工会連合会          交 付 額 165,602千円</p> <p>(i) 商工会指導員等の配置状況</p> <table> <tr> <td>商工会指導員</td> <td>専門経営指導員</td> <td>補助員</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>13人</td> <td></td> </tr> </table> <p>(ウ) 活動状況</p> <table> <tr> <td>商工会現地指導</td> <td>1,321回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修会・講習会</td> <td>28</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広域センター指導</td> <td>653件</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>倒産防止対策事業</td> <td>商工調停士の委嘱</td> <td>5人</td> <td>相談件数</td> <td>4件</td> </tr> </table> <p>(4) 中小企業団体中央会等育成指導事業          中小企業等協同組合等の活発化を図るため、中小企業の組織化や組合等への指導・支援事業に対して助成した。</p> <p>ア 交付団体 京都府中小企業団体中央会          交 付 額 157,704千円</p> <p>イ 指導員等の配置状況</p> <table> <tr> <td>巡回指導員</td> <td>労働指導員</td> <td>商店街指導員</td> <td>職員</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>13人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>22人</td> </tr> </table> <p>ウ 活動状況</p> <table> <tr> <td>協同組合等の設立・運営指導</td> <td>指導件数</td> <td>4,810件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>組合相談室の設置運営</td> <td>相談件数</td> <td>3,160</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域産業実態調査事業</td> <td>研究会開催件数</td> <td>6回</td> <td>実態調査</td> <td>1件</td> </tr> </table>		経営支援員				商 工 会 (20箇所)	105人				商工会議所 (8 )	87				計	192				経営改善等相談指導	45,045件				創 業 指 導	1,997				記 帳 指 導	7,606				金融のあっせん	749	あっせん金額	5,124,236,000円		講習会・講演会等の開催	1,724回				事業主の事務代行	2,667事業所				大都市対策特別普及振興事業	1件				地域振興推進事業	8				倒産防止対策事業	商工調停士の委嘱	18人	相談件数	91件	商工会指導員	専門経営指導員	補助員	計		7人	4人	2人	13人		商工会現地指導	1,321回				研修会・講習会	28				広域センター指導	653件				倒産防止対策事業	商工調停士の委嘱	5人	相談件数	4件	巡回指導員	労働指導員	商店街指導員	職員	計	13人	1人	4人	4人	22人	協同組合等の設立・運営指導	指導件数	4,810件			組合相談室の設置運営	相談件数	3,160			地域産業実態調査事業	研究会開催件数	6回	実態調査	1件
	経営支援員																																																																																																																											
商 工 会 (20箇所)	105人																																																																																																																											
商工会議所 (8 )	87																																																																																																																											
計	192																																																																																																																											
経営改善等相談指導	45,045件																																																																																																																											
創 業 指 導	1,997																																																																																																																											
記 帳 指 導	7,606																																																																																																																											
金融のあっせん	749	あっせん金額	5,124,236,000円																																																																																																																									
講習会・講演会等の開催	1,724回																																																																																																																											
事業主の事務代行	2,667事業所																																																																																																																											
大都市対策特別普及振興事業	1件																																																																																																																											
地域振興推進事業	8																																																																																																																											
倒産防止対策事業	商工調停士の委嘱	18人	相談件数	91件																																																																																																																								
商工会指導員	専門経営指導員	補助員	計																																																																																																																									
7人	4人	2人	13人																																																																																																																									
商工会現地指導	1,321回																																																																																																																											
研修会・講習会	28																																																																																																																											
広域センター指導	653件																																																																																																																											
倒産防止対策事業	商工調停士の委嘱	5人	相談件数	4件																																																																																																																								
巡回指導員	労働指導員	商店街指導員	職員	計																																																																																																																								
13人	1人	4人	4人	22人																																																																																																																								
協同組合等の設立・運営指導	指導件数	4,810件																																																																																																																										
組合相談室の設置運営	相談件数	3,160																																																																																																																										
地域産業実態調査事業	研究会開催件数	6回	実態調査	1件																																																																																																																								

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>個別専門指導 5 組合</p> <p>講習会・研究会の開催 開催件数 14回</p> <p>中小企業関連情報伝達事業 情報連絡員 42人</p> <p>京都ブランド・新分野開拓事業 1 件</p> <p>(5) 知恵ビジネス成長支援事業 高付加価値型京都産業の実現を図るため、京都商工会議所を中心とした「知恵ビジネス」の啓発・育成事業に対して助成した。</p> <p>ア 交付団体 京都商工会議所 交 付 額 12,000千円</p> <p>イ 知恵ビジネスプランコンテストの実施 応募総数 57件 認 定 6</p> <p>ウ 知恵産業・経営大会 開 催 日 令和元年8月28日 参 加 者 約1,000人</p> <p>3 執 行 額 1,872,192,593円 (うち補助金 1,860,128,272円)</p>
			中小企業消費税率引上げ対策支援事業 (中小企業総合支援課)	<p>1 施策の趣旨等 令和元年10月に実施された消費税率引上げに伴い、影響を受ける中小企業等を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 府内に事業所を有する中小企業者等が行う価格表示変更、固定経費の削減や経営改善等の取組に係る経費に対して助成した。 交付件数 304件 交 付 額 58,966千円</p> <p>3 執 行 額 58,966,000円 (補助金)</p>
			中小企業事業継続・承継支援強化事業 (ものづくり振興課)	<p>1 施策の趣旨等 府内中小企業の円滑な事業継続・事業承継を支援するため、後継者候補となる中核人材の確保から、親族承継のみならず、第三者承継や事業承継型M&amp;Aなど、多様な事業承継パターンに対応した総合的な支援を実施する。</p>

			<p>2 施策の実施状況 公益財団法人京都産業21に設置する「京都中小企業事業継続・創生支援センター」において、産業支援機関、金融機関、京都ジョブパーク等の多様な関係機関と連携し実施した。</p> <p>相談件数 627件 専門家派遣件数 39 後継者候補マッチング成約件数 19</p> <p>3 執行額 36,655,609円 (委託料)</p>
		<p>中小企業等復興支援事業 (中小企業総合支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 平成30年台風21号で被災した中小企業者等の設備等の再建に対し、中小企業応援隊による伴走支援により、早期の復旧・復興を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 府内に事業所を有する中小企業者等が行う被災した設備等の更新や機器の修繕等に係る経費に対して助成した。</p> <p>交付件数 105件 交付額 27,040千円</p> <p>3 執行額 27,040,000円 (補助金)</p>
		<p>新型コロナウイルス感染症経済対策事業 (産業労働総務課 中小企業総合支援課 流通・ブランド戦略課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 新型コロナウイルス感染症が、サプライチェーン等の毀損による急激な円高や株価の下落など経済活動に大きな悪影響を与えている中、中小企業等の経営状況把握や課題解決、また、早急な業績回復に向けた中小企業等の経営改善の取組を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 新型コロナウイルス対策緊急支援本部の開設 開設日 令和2年3月26日 主な機能 各種支援施設の紹介、国庫補助金の採択に向けたサポート等</p> <p>3 執行額 393,444円</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
<p><b>2 観 光 費</b></p> <p>1 観 光 費 (P166)</p>	<p>円</p> <p>504,248,000 (899,068,000)</p>	<p>円</p> <p>492,137,814 (876,530,386)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 136,069,903 一 般 財 源 356,067,911</p>	<p>「もうひとつの京都」 ステップアップ推進事 業 (企画参事)</p> <p>「海の京都」DMO推 進事業 (企画参事)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「もうひとつの京都」における市町村の地域づくりをさらに深化させるため、DMO等との連携による広域周遊の拠点整備や、それらを活用した住民主導による広域交流促進等の取組を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 各市町村における戦略拠点を中心として、海の京都・森の京都・お茶の京都の各DMO等との連携により広域周遊に資する施設の整備や、交流人口の拡大に向けた住民主導による広域交流促進のための取組を、ハード事業・ソフト事業の両面から支援した。 交付先 福知山市、綾部市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、与謝野町（9市町）</p> <p>3 執 行 額 19,944,000円 (交付金)</p> <p>1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table border="0" data-bbox="1075 925 1836 1037"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td style="text-align: right;">1,060万人</td> <td style="text-align: right;">1,026万人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海の京都エリアにおける観光消費額</td> <td style="text-align: right;">285億円</td> <td style="text-align: right;">273億円</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 海の京都エリアの観光振興を図るため、海の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p> <p>(1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査、観光圏顧客満足度調査等 事業数 6事業 「海の京都DMO」観光マーケティング調査データの公表</p> <p>(2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 着地型旅行商品造成等 241商品 クルーズ船オプションツアーの手配 20回 旬の美食キャンペーンによる宿泊施設誘客 496人 金融機関と連携した「年金友の会」担当者向けファミツアーの実施 参加者 5,310人</p>		指 標	目 標	実 績		海の京都エリアにおける観光入込客数	1,060万人	1,026万人		海の京都エリアにおける観光消費額	285億円	273億円
	指 標	目 標	実 績													
	海の京都エリアにおける観光入込客数	1,060万人	1,026万人													
	海の京都エリアにおける観光消費額	285億円	273億円													

			<p>「森の京都」DMO推進事業 (企画参事)</p>	<p>(3) 特産品のブランド化・販売促進 ECサイト「海の京都市場」、旬の美食キャンペーン等での販売 商品売上高 12,349千円</p> <p>(4) インバウンド推進事業 欧米豪やアジア圏へのインバウンド誘致に向けたプロモーションの実施 海外商談会への参加 13回 現地旅行社等との商談 346社</p> <p>(5) 人材育成・確保 観光ガイド養成講座等開催 参加者 延べ202人</p> <p>(6) 情報発信・プロモーション事業 ネット配信サービスの実施 錦市場「丹後TABLE」での情報発信</p> <p>3 執行額 77,355,000円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">目 標</th> <th style="text-align: center;">実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td style="text-align: center;">1,020万人</td> <td style="text-align: center;">1,024万人</td> </tr> <tr> <td>森の京都エリアにおける観光消費額</td> <td style="text-align: center;">195億円</td> <td style="text-align: center;">185億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 森の京都エリアの観光振興を図るため、森の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p> <p>(1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査、スマートフォンによるアンケート調査等 事業数 4事業</p> <p>(2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 着地型旅行商品造成等 34商品 教育体験旅行受入数 1,683人 教育体験旅行受入校数 30校 大河ドラマ「麒麟がくる」放映を契機とした旅行商品の造成等</p> <p>(3) 特産品のブランド化・販売促進 ECサイト「森のおすそわけ」、北近畿おいしいものマルシェ（大阪ステーションシティ）等での販売 商品売上高 1,520千円</p>	指 標	目 標	実 績	森の京都エリアにおける観光入込客数	1,020万人	1,024万人	森の京都エリアにおける観光消費額	195億円	185億円
指 標	目 標	実 績											
森の京都エリアにおける観光入込客数	1,020万人	1,024万人											
森の京都エリアにおける観光消費額	195億円	185億円											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	円	円		<p>(4) インバウンド推進事業 欧米豪やアジア圏へのインバウンド誘致に向けたプロモーションの実施 海外商談会等への参加 6回 現地旅行社等との商談 80社</p> <p>(5) 人材育成・確保 森の京都観光地域づくりパートナーの配置・ネットワーク化、観光ガイド養成等</p> <p>(6) 情報発信・プロモーション事業 森の京都伝統食・行事食歳時記の作成 地方紙等への掲載</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">44,443,000円 (負担金)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人京都山城地域振興社（お茶の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>1,360万人</td> <td>1,328万人</td> </tr> <tr> <td>お茶の京都エリアにおける観光消費額</td> <td>261億円</td> <td>223億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 お茶の京都エリアの観光振興を図るため、お茶の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p> <p>(1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査、顧客満足度調査等 事業数 5事業</p> <p>(2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 着地型旅行商品の造成等 98商品 タクシー周遊プラン造成 13コース 文化財建造物修理現場特別公開連携ツアーの実施 3コース</p> <p>(3) 特産品のブランド化・販売促進 ECサイト「お茶の京都宇治茶navi」、百貨店・地下街等での物産展売店等 商品売上高 3,209千円</p> <p>(4) インバウンド推進事業 欧米豪やアジア圏へのインバウンド誘致に向けたプロモーションの実施</p>	指 標	目 標	実 績	お茶の京都エリアにおける観光入込客数	1,360万人	1,328万人	お茶の京都エリアにおける観光消費額	261億円	223億円
指 標	目 標	実 績											
お茶の京都エリアにおける観光入込客数	1,360万人	1,328万人											
お茶の京都エリアにおける観光消費額	261億円	223億円											
			「お茶の京都」DMO 推進事業 (企画参事)										



				<p>海外商談会への参加 3回  現地旅行社等との商談社数 73社</p> <p>(5) 人材育成・確保  観光地域づくり専門アドバイザー派遣地域・施設等 50件  観光ガイド育成講座 8回</p> <p>(6) 情報発信・プロモーション事業  国内・海外向けプロモーションイベントの実施  地方紙、旅行雑誌等への掲載</p> <p>(7) 宇治茶プレミアムブランド化推進事業  国内外、特に世界の文化集積地であるパリで、宇治茶ブランド確立に向けたプロモーションを実施</p> <p>ア OECD日本政府代表部大使公邸ガーデンパーティにおけるプロモーション  実施期間 令和元年6月25日  実施場所 日本大使公邸（フランス・パリ市内）</p> <p>イ 宇治茶プレミアムブランドプロモーション  実施期間 令和元年10月13日～18日  実施場所 ユネスコ本部、パリ日本大使館他（フランス・パリ市内）</p> <p>3 執 行 額 57,537,000円  (負担金)</p>
			<p>伝統的建造物活用宿泊  施設等整備推進事業  (企画参事)</p>	<p>1 施策の趣旨等  「もうひとつの京都」エリアの交流人口拡大のため、地域に散在する伝統的建造物や古民家等の歴史的資源を活用した新たな宿泊施設の創出を通じた観光地域づくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況  伝統的建造物や古民家等を活用した宿泊施設の開設に向けた取組を実施した。</p> <p>(1) 宿泊施設の開業に向けた地域の推進体制の構築  実施地域 亀岡市</p> <p>(2) 伝統的建造物、古民家等の宿泊施設整備に向けたイメージパス作成の支援  実施地域 舞鶴市、和束町、京丹波町</p> <p>3 執 行 額 3,000,000円  (負担金)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	円	円	<p>「もうひとつの京都」 観光周遊カーシェアリング推進事業 (企画参事)</p> <p>インバウンド対策強化事業 (観 光 室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 民間事業者との連携により、お茶の京都エリアの駅周辺にカーシェアステーションを設置し、エリア内での観光・周遊の取組を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 お茶の京都エリアにおいて、京都府、お茶の京都DMO、タイムズモビリティ株式会社、JR西日本が連携し、観光周遊カーシェアリング事業を開始した。</p> <p>(1) カーシェアステーションの設置 設置駅 宇治駅、玉水駅、木津駅、加茂駅</p> <p>(2) 優待観光施設の設定 設定施設 平等院、黄檗山萬福寺、宗円交遊庵やんたん、大正池グリーンパーク、むすび家カフェ、普賢寺ふれあいの駅、蟹満寺、岩船寺、浄瑠璃寺、海住山寺</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">3,000,000円 (委託料)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 急増する外国人観光客を地域に呼び込む仕掛けづくりを行い、その旺盛な消費を地域や中小企業の隅々にまで行き渡らせることで、観光消費拡大による地方創生の実現を図る。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>外国人宿泊客数</td> <td>378万人</td> <td>390万人</td> </tr> <tr> <td>観光入込客数</td> <td>9,400</td> <td>8,791</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 海外からの誘客促進事業 ア アジアからの誘客促進 海外から京都府域への更なる誘客を促進するため、海外における京都府情報発信拠点の設置、SNS等を活用した情報発信や市場別海外プロモーション等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外情報発信拠点 <span style="float: right;">2箇所(香港、台湾)</span></li> <li>・トッププロモーション <span style="float: right;">令和元年10月(仏国、英国)</span></li> <li>・海外旅行博への出展 <span style="float: right;">令和元年7月(香港ブックフェア) 令和元年11月(タイFITフェア)</span></li> <li>・ブロガー・写真愛好家等の招請5回 <span style="float: right;">台湾ブロガー等延べ15人</span></li> <li>・雑誌メディアの招請 <span style="float: right;">令和2年2月(香港雑誌メディア3人)</span></li> </ul>	指 標	目 標	実 績	外国人宿泊客数	378万人	390万人	観光入込客数	9,400	8,791
指 標	目 標	実 績											
外国人宿泊客数	378万人	390万人											
観光入込客数	9,400	8,791											

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地インターカレッジセミナーの実施 令和元年12月（台湾人69人参加）</li> <li>・多言語ホームページ・Facebook等SNSによる情報発信</li> <li>・多言語パンフレット等の制作</li> </ul> <p>イ 広域連携による誘客促進 他府県市や民間事業者と連携し、欧米等からの観光誘客を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク等日本海側の発信のための外国人記者招請 1回 令和2年1月（フランス大手メディア記者2人）</li> </ul> <p>ウ Wi-Fi整備・多言語対応環境整備支援事業 交付件数 6件（Wi-Fi整備のみ1件、多言語対応環境整備のみ4件、両方1件） 交付額 299千円</p> <p>エ 宿泊施設向け通訳サービス事業 事業内容 宿泊施設事業者が利用できる24時間通訳コールセンター（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、フランス語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語）を整備 利用件数 59件（通訳1件、翻訳58件）</p> <p>(2) 欧米豪インバウンド誘客促進強化事業 観光消費額の高い欧米豪からの観光客をターゲットとして府域に周遊させるため、旅マエ、旅ナカでのプロモーションや、関西広域連合構成府県との連携によるトッププロモーション、京都市内の宿泊施設等へのセールス活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トッププロモーション 令和元年10月（仏国・英国）</li> <li>・豪州・メルボルン現地イベントの実施 令和元年8月</li> <li>・ANA・大分県連携による外国人記者招請 令和元年8月 （スウェーデン1人、フランス1人、オーストラリア1人）</li> </ul> <p>(3) 多言語情報発信機能強化事業 海外でのプロモーション等で活用する多言語PR動画や、災害時に交通情報等方法等を発信するホームページの多言語対応により、外国人観光客に対する情報発信機能を強化した。</p> <p>(4) 海外からの教育旅行誘致促進事業 海外からの教育旅行誘致を推進するため、海外の学校交流関係者の招請や各種プロモーションを実施した。</p> <p>学校交流 33件 教育旅行海外プロモーション 3回 令和元年6月（台湾）、9月（香港・マカオ） 11月（豪州） 海外の学校及び教育行政関係者招請 5人 令和元年10月（台湾）</p> <p>(5) 京都文化交流・コンベンション推進事業 ア 京都文化交流・コンベンション推進事業 MICE誘致の充実強化を図るため、公益財団法人京都文化コンベンションビューローが実施する国際会議誘致活動や企業インセンティブツアー等の取組に対して助成した。</p> <p>国際会議開催件数 405件 参加者数 208,381人（うち海外32,926人）</p>
--	--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>観光と文化をテーマとした国際会議開催事業 (観 光 室)</p> <p>京の七夕事業 (観 光 室)</p>	<p>イ MICE誘致事業 地域への経済波及効果が高い国際会議開催の効果を府内全域へ広げるとともに、将来的に京都府への再訪を促進するため、府域でのコンベンション・分科会等の開催や会議等に付随する観光ツアーに対して助成した。 交付件数 12件 (コンベンション7件、分科会1件、エクスカージョン4件) 交 付 額 3,000千円</p> <p>3 執 行 額 111,463,239円 (うち補助金 73,597,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 世界各国の観光・文化行政に携わる関係者が参加する国連主催の「観光と文化をテーマとした国際会議」の開催を支援することにより、京都の魅力を世界に広く発信する。</p> <p>2 施策の実施状況 「将来世代への投資」をテーマに、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて観光と文化の力をどう活用するかなどについて、閣僚級会合や分科会等で議論するとともに、今後の各国・地域における、観光と文化に関する取組指針となる「観光・文化京都宣言」を会議の成果として取りまとめた。 開催期間 : 令和元年12月12日～13日 開催場所 : 国立京都国際会館 テ ー マ : 将来世代への投資 参 加 者 : 各国の観光・文化大臣など政府関係者、国際機関関係者、民間事業者等 参加人数 : 約1,500人 (2日間延人数) 参加国数 : 約70か国 主 催 : 国連世界観光機関 (UNWTO)、国連教育科学文化機関 (UNESCO) 地元主催者: 観光庁、文化庁、京都府、京都市</p> <p>3 執 行 額 30,000,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 旧暦の七夕にちなみ、平和や環境保全の願いを京都から世界に発信する京都ならではの新しい「七夕」事業をオール京都で実施し、夏の夜の観光として多くの観光客を京都に迎え、京都の観光振興を促進する。</p>

			<p>京都・かぐや姫観光推進事業 (観光室)</p>	<p>指標：「京の七夕」来場者数 目標：75万人 実績：約60万人</p> <p>2 施策の実施状況        京都の夏の風物詩として「七夕」にちなんだ「竹」と「灯り」で府内各地を演出し、府域への観光誘客を推進した。        開催期間 令和元年8月1日～31日(31日間)        ※各エリアごとに開催期間は異なる        開催場所 鴨川エリア(仏光寺通～御池通)、堀川エリア(下立売通～一条戻橋付近)、二条城、北野紙屋川エリア、梅小路エリア、宮津市エリア        協賛事業 寺院・神社の夜間拝観、商店街等の協賛イベント等        来場者数 約60万人</p> <p>3 執行額 24,200,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等        世界的観光都市・京都市に近接し、多くの歴史・文化遺産、自然等の資源を有する「竹の里・乙訓」を中心に、「京都・かぐや姫観光」をテーマに賑わいを創出する。</p> <p>2 施策の実施状況        (1) チャリウッド2019と連動した「もうひとつの京都」観光プロモーションの実施        開催期間 令和元年5月11日～12日        開催場所 ホテル阪急インターナショナル前広場及びエントランス内        開催内容 3DMOによる物産販売・体験コーナー、竹細工ワークショップ、観光PRブース        来場者数 約205,000人(11日 約95,000人、12日 約110,000人)        ワークショップ参加人数 43人        (2) 「竹の里・乙訓」物産展の開催        開催日 令和元年10月20日        開催場所 京都向日町競輪場(向日市)        開催内容 「もうひとつの京都」の特産品等の販売、竹細工ワークショップ、観光PRブース        来場者数 約110,000人        (3) ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西への出展        開催期間 令和元年10月24日～27日        開催場所 INTEX OSAKA(インテックス大阪)及びその周辺        開催内容 「もうひとつの京都」「大河ドラマ「麒麟がくる」」「とっておきの京都」をテーマに出展し、オール京都体制でプロモーションを実施        来場者数 約150,000人        商談件数 167件(うち竹の里・乙訓関係 31件)</p>
--	--	--	--------------------------------	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	円	円		<p>(4) 背割堤さくらまつりに合わせたさくらであい館と阪急西山天王山駅を結ぶ有料シャトルバスの運行            次のとおり運行する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。            開催期間 令和2年3月28日～4月7日 計11日間            開催場所 淀川河川公園背割堤地区（八幡市）            運行本数 18便／1日（往路 9便、復路 9便）            運賃 大人 250円、小人 130円</p> <p>3 執行額 17,498,401円            （うち補助金 9,420,000円）</p> <p>1 施策の趣旨等            京都の歴史的文化遺産をつなぐルートを風情のある灯りで演出し、寺院・神社における夜間拝観等とタイアップした観光イベントを地元や府民、企業等の参加のもとに実施する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都・嵐山花灯路来場者数</td> <td>120万人</td> <td>約100万人</td> </tr> <tr> <td>京都・東山花灯路来場者数</td> <td>120</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況            京都への観光誘客を推進するため、花灯路用に整備した照明器具を貸与し、観光振興や地域振興のための催事等を支援する「灯りの催事奨励事業」を実施した。なお、東山地域については、次のとおり開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。            開催地域・時期等 嵯峨・嵐山地域 令和元年12月13日～22日 来場者数約100万人            東山地域 令和2年3月6日～15日 中止            貸出照明器具数 31団体 延べ3,879基</p> <p>3 執行額 16,000,000円            （分担金）</p> <p>「もうひとつの京都」            観光PR事業            （観光室）</p> <p>1 施策の趣旨等            2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「もうひとつの京都」へ呼び込むため、情報発信の強化、受入環境の整備を推進する。</p> <p>指標：観光入込客数 目標：9,400万人 実績：8,791万人</p>	指 標	目 標	実 績	京都・嵐山花灯路来場者数	120万人	約100万人	京都・東山花灯路来場者数	120	中止
指 標	目 標	実 績											
京都・嵐山花灯路来場者数	120万人	約100万人											
京都・東山花灯路来場者数	120	中止											

			<p>無形文化遺産「和食」 発信事業 (観光室)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 首都圏における情報発信拠点の開設 東京オリンピック・パラリンピックを見据え、世界中から観光客が集まる東京に京都観光の情報発信拠点を設置し、「もうひとつの京都」を積極的に発信した。</p> <p>名称 京都府観光案内所・東京 (KYOTO tourist information center・TOKYO) 場所 東京都千代田区丸の内 丸の内トラストタワー N館1階 TIC TOKYO (TOURIST INFORMATION CENTER) 営業時間 10:00～19:00 (年中無休・年末年始を除く) 業務内容 ア 京都府専用コンシェルジュの配置 イ スカイプ連携による観光案内 ウ チャットワーク導入によるデータの共有、管理 エ パンフレット・チラシの配架、ポスターの掲示 オ 館内モニターでの観光プロモーション映像の放映</p> <p>来館者数 392,572人</p> <p>(2) 全国の物産展における「もうひとつの京都」情報の発信 「もうひとつの京都」の魅力発信し、全国から京都府域へ観光客を誘導するため、全国各地で開催される「京都物産展」の場を活用し、観光プロモーションを実施した。</p> <p>百貨店広告への「もうひとつの京都」PR記事掲載 23箇所 「もうひとつの京都」PRブース設置 21 「もうひとつの京都」PRイベントの実施 7 ＜イベント内容＞お茶席、お茶にまつわる教室、黒豆簡単クッキング</p> <p>(3) ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西への出展 開催期間 令和元年10月24日～27日 開催場所 INTEX OSAKA (インテックス大阪) 及びその周辺 開催内容 「もうひとつの京都」「大河ドラマ「麒麟がくる」」「とっておきの京都」をテーマに出展し、オール京都でプロモーションを実施</p> <p>来場者数 約150,000人 商談件数 167件 (うちもうひとつの京都関係 93件)</p> <p>3 執行額 14,838,000円 (うち補助金 9,838,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「和食」のユネスコ無形文化遺産への登録を契機に、和食文化を保護し次の世代に継承するとともに、京都の食文化の魅力発信し、観光誘客や産業振興を図る。</p> <table border="1" data-bbox="1099 1369 1928 1465"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京都・和食の祭典2020」の参加者数</td> <td>10,000人</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>「御食国・和食の祭典in若狭路2019」の参加者数</td> <td>50,000</td> <td>57,000人</td> </tr> </tbody> </table>	指標	目標	実績	「京都・和食の祭典2020」の参加者数	10,000人	中止	「御食国・和食の祭典in若狭路2019」の参加者数	50,000	57,000人
指標	目標	実績											
「京都・和食の祭典2020」の参加者数	10,000人	中止											
「御食国・和食の祭典in若狭路2019」の参加者数	50,000	57,000人											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>鴨川納涼事業 (観 光 室)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「京都・和食の祭典2020」開催事業 和食の真髄である京料理をはじめ和食の魅力を体感できる多角的なイベントの開催を次のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 開 催 日 令和2年3月7日 開催場所 西本願寺及び龍谷大学大宮キャンパス 開催内容 和食ブース、和食づくり・京菓子づくり体験等</p> <p>(2) 「御食国・和食の祭典in若狭路2019」開催事業 古代、皇室や朝廷に納めていた「御食国（淡路・若狭・志摩）」の食材の魅力と、それらの食材を使って京都を中心に発展してきた「和食」文化の魅力について、学び、味わい、体験できるイベントを、京都、兵庫、福井、三重の4府県が連携して実施した。 開 催 日 令和元年10月25日～27日 開催場所 御食国若狭おばま食文化館及び食文化館前広場 開催内容 関係者向けオープングレセプション（1日目） 参加者数 72人 和食フードコート・トークショー等（2日目・3日目） “ 約57,000</p> <p>(3) 和食文化海外発信事業 令和元年度に京都で開催された「第7回日本料理コンペティション・決勝大会」を通じて和食文化を国内外に広くPRするため、同コンペティションの実施事業者に対して助成した。 開 催 日 令和2年3月8日 開催場所 京都調理師専門学校太秦キャンパス 参加者数 164人 交付団体 特定非営利活動法人日本料理アカデミー 交 付 額 4,665千円</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">14,308,906円 (うち分担金 9,643,114円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 京都の夏の風物詩として府民や観光客に定着している「鴨川納涼」を「京の七夕」と一体的に開催し、河川愛護・環境保全の啓発並びに全国及び府内の観光・物産の振興を図り、交流と憩いの場を提供する。</p> <p>指標：「鴨川納涼」来場者数 目標：30万人 実績：約21万人</p>



			<p>2 施策の実施状況 鴨川右岸河川敷（三条～四条）において、全国物産展、参加型ステージイベント等の実施により賑わい創出を図った。 開催時期 令和元年8月3日～4日 開催場所 鴨川三条大橋～四条大橋 右岸河川敷一帯 開催内容 河川愛護・環境保全の普及啓発、各県人会・府内市町村等からの物産出展、友禅流し実演（京都染織青年団体協議会）、ステージイベント 来場者数 約21万人</p> <p>3 執行額 13,800,000円 (負担金)</p>
		<p>宿泊施設立地促進事業 (観光室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 インパウンドの増加に宿泊施設の受入が追いついていない中、ホテルやオーベルジュなど多様な宿泊施設の立地を促進する補助制度により、府・市町村の連携の下、地域での観光消費の向上を図り、観光産業の振興を促進する。  指標：観光入込客数 目標：9,400万人 実績：8,791万人</p> <p>2 施策の実施状況 立地する市町村からの支援及び推薦を受けた宿泊施設立地事業者を対象に、宿泊施設の建設・改修等に対して助成した。 交付件数 1件 交付額 12,570千円</p> <p>3 執行額 12,570,000円 (補助金)</p>
		<p>「京の七夕」・「京都・ 花灯路」連携府域周遊 事業 (観光室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「京の七夕」及び「京都・花灯路」と連携・連動した事業を府域で展開することにより、府域への周遊観光を促進する。  指標：連携イベント数 目標：30件 実績：22件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) ～京都・花灯路連携事業～京都・宇治灯り絵巻2020の実施 「京都・花灯路」のコンセプトと源氏物語宇治十帖をテーマにした「宇治灯り絵巻灯籠」を融合した事業を次のとおり実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	ガストロノミーエリア 創出事業 (観 光 室)	<p>で延期した。</p> <p>開催期間 令和2年3月20日～22日                      開催場所 府立宇治公園周辺中宇治地区一帯及び黄檗山萬福寺                      開催内容 灯りの路、寺社等名所のライトアップ、文化体験イベント等</p> <p>(2) 府域開催イベントに「京の七夕」風鈴灯、「京都・花灯路」行灯を貸出し                      「京の七夕」風鈴灯 3カ所                      「京都・花灯路」行灯 5 (うち1カ所は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期)</p> <p>(3) 情報発信                      府域で開催する夜のライトアップイベント等を「京の七夕」「京都・花灯路」の連携事業として、情報誌や電子媒体等で情報発信した。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">9,947,860円 (うち分担金 8,000,000円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等                      国内外観光客共通の旅行目的であり、府域共通の観光資源でもある「食」を活かし、その土地ならではの食を味わいながら、その背景にある歴史・文化との関係も楽しむことができる「ガストロノミーエリア」としての地域の力を高め、府域のブランド化を推進することで、府域への観光誘客を促進する。</p> <p>指標：府域観光入込客数 目標：3,520万人 実績：3,439万人</p> <p>2 施策の実施状況                      府域にある多様な食関連の資源を活かしたコンテンツを、海の京都エリアの料理人や生産者等と連携して生み出すために設立した「海の京都料理LABO」において、地域の魅力を再発見するワークショップ等を開催するとともに、府域の食に特化した情報発信を実施した。                      海の京都料理LABO参加者数 56人                      ワークショップ開催回数 5回(延べ96人)                      「食」をテーマにした新しい体験商品の開発 3件</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">6,500,000円 (補助金)</span></p>

		<p>大河ドラマ広域連携事業 (観光室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 令和2年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機とし、府域に点在する光秀ゆかりの地域等を地元市町等と連携し、広域的に情報発信することで、府域全体の観光振興や地域活性化につなげる。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西への出展 開催期間 令和元年10月24日～27日 開催場所 INTEX OSAKA (インテックス大阪) 及びその周辺 開催内容 「もうひとつの京都」「大河ドラマ「麒麟がくる」」「とっておきの京都」をテーマに出展し、オール京都でプロモーションを実施 来場者数 約150,000人 商談件数 167件 (うち大河ドラマ推進協議会関係 39件)</p> <p>(2) ゆかりの地のPR ア 明智光秀ゆかりの地(亀岡市、長岡京市)の映像制作及びKBS京都での放映 放映日 1月25日、2月29日 イ JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会でのPRを実施 開催日 令和2年2月22日 開催場所 JR京都駅ビル 開催内容 ゆかりの地チームとして出場、パンフレットの配布 ウ JR亀岡駅北マルシェにおけるPRを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 開催日 令和2年3月1日、8日 開催場所 JR亀岡駅北側 開催内容 PRブースの設置、ステージイベント</p> <p>(3) 広域媒体での情報発信の実施 JR東海と連携し、新幹線グリーン車搭載誌「ひととき」4月号(3月20日発行)にゆかりの地の記事を掲載した。</p> <p>3 執行額 5,000,000円 (補助金)</p>
		<p>ミニMICE誘致促進事業 (観光室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府域の様々な地域で受入可能なミニMICE(小規模な国際会議等)の誘致を促進することにより、府域への周遊を図る。</p> <p>指標：京都府内の国際会議開催件数 目標：384件 実績：405件</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>「もうひとつの京都」・ 「とっておきの京都」 周遊事業 (企画参事) (観光室)</p>	<p>2 施策の実施状況 京都府域のエリアごとにミニMICEの受入可能な会場、視察受入企業、エクスカージョンツアーの行程となる観光ポイントや体験施設、宿泊施設等の情報を収集し、ミニMICE誘致活動のためのツールを作成した。 府内でのミニMICE開催のための施設等紹介冊子 1,000部</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">4,000,000円 (委託料)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 「京都市+京都府域+近隣府県」において相互に人が行き交う観光交流を促進するため、府と京都市がそれぞれ取り組んでいる「もうひとつの京都」と「とっておきの京都」を府市協調により連携し、府域における周遊人口の拡大や地域経済の活性化を図る。  指標：観光入込客数 目標：9,400万人 実績：8,791万人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 「もうひとつの京都」と「とっておきの京都」を周遊する旅行商品を造成 次のとおり旅行商品を造成したが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 ア 麒麟がくる京都大河ドラマ館と春の京都2つの特別公開ツアー 開催日 令和2年3月25日、26日、4月5日、6日、9日、12日、16日 イ 伏見・祇園・福知山10コ盛り(てんこもり)ツアー 開催日 令和2年3月14日～15日、3月16日～17日 ウ 亀岡市文化資料館鶴飼館長と巡る光秀功績探訪ツアー 開催日 令和2年3月7日、8日 エ 亀岡「七谷川」桜並木と洛西「勝持寺」桜巡りツアー 開催日 令和2年3月28日、29日 オ 京都・宇治灯り絵巻と随心院はねずみの梅鑑賞ツアー 開催日 令和2年3月20日、21日 カ 京都・宇治灯り絵巻と伏見の酒造・城南宮散策ツアー 開催日 令和2年3月21日、22日</p> <p>(2) 「もうひとつの京都」と「とっておきの京都」を周遊するPR冊子を制作</p>

			<p>文化財活用支援事業 (観光室)</p>	<p>3 執行額 3,232,408円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 文化財建造物修理現場の特別公開を実施するに当たり、寺院やDMO、地域の民間事業者等と連携した観光誘客事業を展開することで、文化財資源を活用した観光振興を図る。</p> <p>指標：文化財資源を活用した府域周遊ツアーの商品化 目標：3企画 実績：3企画</p> <p>2 施策の実施状況 国宝等の文化財建造物修理現場の特別公開と「お茶の京都」エリアの観光資源を組み合わせた周遊型旅行商品を造成した。</p> <p>ツアー名 京都文化財修理現場特別公開見学&amp;お茶の京都巡り 開催コース コース① 清水寺修理現場見学と日本緑茶発祥の地 コース② 教王護国寺(東寺)修理現場見学と南山城の古寺巡礼 コース③ 黄檗山萬福寺修理現場見学と茶源郷和束の茶畑探訪 開催日 コース① 7月26日、7月27日 コース② 7月28日、7月29日 コース③ 8月2日、8月3日 参加者数 175人(コース①55人 コース②51人 コース③69人)</p> <p>3 執行額 2,000,000円 (補助金)</p>
			<p>「TANTANロングライド」開催支援事業 (観光室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府北部地域で開催するサイクリングイベントへの参加者に対するおもてなし事業を実施し、府域への誘客につなげ、地域の活性化を推進する。</p> <p>指標：「TANTANロングライド」の参加者数 目標：1,800人 実績：1,678人</p> <p>2 施策の実施状況 丹後、中丹地域への誘客を図るため、「TANTANロングライド」の参加者に対するおもてなし事業を実施した。</p> <p>イベント名 海の京都 TANTANロングライド2019 実施時期 令和元年6月1日～2日(前日祭6月1日) 開催コース 宮津市天橋立付近を発着地とする3種類のコース Aコース 中丹・丹後地域一周約190km</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円		<p>Bコース 丹後地域一周約100km Cコース 伊根湾遊覧約30km</p> <p>参加者数 1,678人 (Aコース 451人 Bコース 1,179人 Cコース 48人)</p> <p>事業内容 高校生による和太鼓演奏、丹後七姫劇団隊によるステージ公演、エイドステーション及びゴールにおける地元産品のふるまい等</p> <p>3 執 行 額 1,500,000円 (分担金)</p>												
<p><b>3 消費生活費</b></p> <p>1 消費生活費 (P166)</p>	<p>53,439,000 (234,928,000)</p>	<p>51,108,097 (230,874,828)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 47,679,500 一般財源 3,428,597</p>	<p>消費者あんしんサポート事業 (消費生活安全センター)</p>	<p>1 施策の趣旨等 様々な団体と連携した地域での消費者見守り活動の強化や消費生活相談の迅速な解決に向けた市町村相談窓口の支援等により、府民の安心・安全な消費生活を実現する。</p> <table border="0" data-bbox="1099 710 1870 774"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の救済状況 (被害回復率)</td> <td style="text-align: center;">68.0%</td> <td style="text-align: center;">70.0%</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 市町村相談センター支援等事業</p> <p>ア 市町村等相談窓口の支援</p> <table border="0" data-bbox="1153 901 1848 997"> <tr> <td>消費生活相談センター・窓口運営支援</td> <td>26市町村、1事務組合</td> </tr> <tr> <td>消費生活行政担当者相談員研修会</td> <td>7日間 234人</td> </tr> <tr> <td>苦情処理研究会</td> <td>2回 38</td> </tr> </table> <p>イ ネット取引等あんしんチーム事業</p> <p>解決困難なネット取引等の消費生活相談に対応するため、府・市町村職員及び弁護士等で構成するネット取引等あんしんチームを運営し、弁護士や府相談員等による相談サポート等により、事案の早期解決を図った。</p> <p>弁護士による法令解釈や対処法の助言 258件 府相談員による市町村相談員への助言 237</p> <p>ウ 休日等消費生活相談事業</p> <p>架空請求への対応や訪問販売等におけるクーリング・オフの期限が週末にあたること等により、緊急の相談を必要としている消費者が多いことから、京都市と共同して土日・祝日 (年末年始除く) に電話相談窓口を設置することで、消費者被害の拡大を防止した。</p> <p>相談件数 1,394件</p> <p>(2) 消費者被害防止対策事業</p> <p>高齢者等の消費者被害の撲滅を図るため、事業者や地域の多様な主体と連携した特殊詐</p>	指 標	目 標	実 績	消費者被害の救済状況 (被害回復率)	68.0%	70.0%	消費生活相談センター・窓口運営支援	26市町村、1事務組合	消費生活行政担当者相談員研修会	7日間 234人	苦情処理研究会	2回 38
指 標	目 標	実 績														
消費者被害の救済状況 (被害回復率)	68.0%	70.0%														
消費生活相談センター・窓口運営支援	26市町村、1事務組合															
消費生活行政担当者相談員研修会	7日間 234人															
苦情処理研究会	2回 38															

				<p>欺等被害ゼロ・ミッション等を実施した。</p> <p>くらしの安心・安全ネットワーク参画団体 225団体  特殊詐欺等被害ゼロ・ミッション 4回 760人  見守り人材育成研修 4 213  出前講座 59 1,539  メールマガジンの発行 26</p> <p>(3) 事業者指導等による取引の適正化推進事業  ア 悪質な事業者への早期警告等により悪質商法の拡大防止を図った。  文書による事業者指導 7件  イ 事業者団体等と連携したコンプライアンス向上のための取組  事業者向けコンプライアンス講習・調査・啓発 9回</p> <p>(4) 成人前消費者被害防止対策事業  成年年齢引下げを見据え、トークイベント開催による啓発等、若年者向けの悪質商法等による消費者被害防止対策を実施した。  ア トークイベント「成年年齢引下げを考える in KYOTO ～若者の消費者被害を防ごう～」  実施日 令和元年12月14日  参加人数 193人  イ 高等学校教員向け消費者教育教員講座  実施日 令和元年10月10日、11月1日  参加人数 70人</p> <p>(5) 消費者教育推進事業  エシカル消費の普及・啓発を通して、消費者市民社会の構築に向けた機運醸成を図った。  また、学校や企業等へ出前講座等を行い、消費者教育の受講機会を拡大するとともに、消費者問題に意識の高い大学生リーダー等の育成を行った。  ア 夏休みワークショップ～エシカル消費のススメ～  実施日 令和元年8月8日  参加人数 約400人  イ 出前講座  開催回数 192回  参加人数 11,589人</p> <p>3 執行額 51,108,097円  (うち補助金 33,196,000円)</p>
--	--	--	--	---

